

令和7年度 学校評価(自己評価)

集計

5を5点、4を4点、3を3点、2を2点、1を1点として、平均を算出し、四捨五入して点数を表示した。

* 適切 5 ほぼ適切 4 どちらとも言えない 3 やや不適切 2 不適切 1

(1)教育理念・学校教育目標 (校長) (平均)

①	学校の理念、目的、望ましい学生像が定められているか。	4.4
②	学校における職業教育の目標が明確か。	4.6
③	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	4.2
④	学校の理念、目的、学生像、将来構想等が学生・保護者に周知されているか。	4.1

1)課題等

- a.学生への周知はできているが、保護者への周知が弱い。
b.保護者に周知されているか？

2)今後の改善方策等

- a.PTA会報以外にもツールが欲しい。
b.PTA会報に掲載したら良いのではないか。

(2)学校運営 (事務部) (平均)

①	経営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4.1
②	運営組織や意志決定機能が明確化され、有効に機能しているか。	4
③	人事、給与等に関する規定等は整備されているか。	3.6
④	教務・事務等の分掌組織、意志決定システムが整備されているか。	3.7
⑤	教育活動に関する情報公開が適切にされているか。	4.4
⑥	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3.2
⑦	予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっているか。	3.9
⑧	指導力を備えた教員(本務・兼務)の確保に努めているか。	3.8

1)課題等

- a.⑧教員の確保に努めているが、今後世代交代が進んでいくと教員が足りなくなる。
b.⑧指示に従わない学生に対し、その指導に対し不満が出ていることを学生から聞こえてきている。(教務)
c.主任にふさわしくない人事があると思う。
d.⑥1, 紙での配布物が多すぎる。
2, 電話だけでは保護者や学生との連携が難しい。
3, 出席簿など手書きしないといけないものが多い。
e.ここは教務ではわからない内容です。
f.情報システム化の気配はあるが、一部はベテランの記憶や経験に頼っている。
g.個々に使用できるPCがあるので、それを活用した教務システムの導入(業務の効率化)
グーグルクラスルーム(無償利用)が難しいのであれば教務システム導入により、その代替になるものもあるのではないか。
h.デジタル化、効率化が難しい。(費用がかかりすぎる)

2)今後の改善方策等

- a,教員育成のためにも入れ替わりのタイミングではなく、余力のある時に確保し、即戦力となるような育成をしていく。
- d,1,配布物は基本デジタルで行う。
- 2, グーグルクラスルームなどの導入。
- 3, 出席管理のシステム化。
- f,教務主導による全体の見直しを実施。
- g,検討時間が厳しいが、規制システムの内容や費用を見比べて導入を検討するじきではないか
- h、内部でできる範囲行う。

(3)教育活動・教育環境（教務部）

(平均)

①	学校教育目標・指導要領・学則等に基づいた教育課程が編成されているか。	4.4
②	学科の到達レベルや学習時間の確保は明確か。	4.1
③	実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。	4
④	理・美容部会が機能し、教育活動の改善が図られているか。	4.2
⑤	授業評価の実施・評価体制が図られているか。	4.2
⑥	成績評価、単位認定、進級・卒業の基準は明確か。	4.6
⑦	資格取得に関するカリキュラム、指導体制は整っているか。	4.3
⑧	教員が先端的知識・技能等を習得するための研修等の取組が行われているか。	3.6
⑨	学校行事等、適切に立案され実施されているか。	4.4
⑩	施設・設備は必要性に対応できるよう整備されているか。	4.1
⑪	防災体制は整備されているか。	4.5
⑫	生徒指導の重点(挨拶・マナー・後始末)が適切に実施されている。	3.5

1)課題等

- a,⑫教員、学生ともに挨拶をもっと明るいトーンでお互いできるとよい。
- b,④部会での内容がわからない。
- c,⑫注意する人としらない人、気が付かない人がいる。
- d,履修時間はしっかり確保されているが、必修科目に関しては12月時点で0スタートに近いレベルの学生が多すぎる印象。ただやり過ごすだけの時間に見えるときがある。国試に対応できてるのか疑問。
- e,⑫
- f,あいさつ、マナー
- g、部会が一部の人間に掌握されている。
- h,施設、設備の経年劣化が出る時期ではないか。
- I,必修科目の講師のバックアップについて。ある程度、常勤の教員で対応できる体制を作る。国家試験(筆記)対策にもつながる。
- j,必要な業務、指導方を新しい先生がわからないというところがありました。

2) 今後の改善方策等

- a. 入学後、4、5月で挨拶の徹底(姿勢・声の出し方・礼)をして継続できるように声がけしていく。
- b. 会議等で簡単に簡潔に話してほしい。
- c. 共通理解について。
- d. 必修科目は休息の時間ではないので、各科目の授業時間をもっと見回る。
- e. 一部の学生のマナーが悪いのは、個々の指導。
- f. たばこ、ごみ、大声などマナーとしてどうかと思われるところがあるので日々大切さを伝えていくこと。
- g. 司会を持ち回り制にする等。
- h. 優先順位をつけ、計画的に点検、メンテナンスをする必要があるのではないか。
- i. 年に1、2科目程度、研修に行く予算を検討する。
- j. PCの1つのファイルに打ち込み例など見やすいものがあるといいと思います。教員の指導者になる指導等、副担任ですと一緒動いて帳簿の書き方など勉強できる期間があるといいと思います。

(4) 学生支援

(平均)

①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。(教務部)	4.3
②	学生相談に関する体制は整備されているか。(指導部)	4.2
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。(事務部)	4
④	学生の生活環境への支援は行われているか。(指導部)	3.7
⑤	保護者と適切に連携しているか。(指導部)	4.2
⑥	卒業生への支援体制はあるか。(指導部)	3.6
⑦	高校等との連携による職業教育等の取組状況はどうか。(広報部)	4.1

1) 課題等

- a. ③理美容大会の補助はあるが、学生の負担が多い。
- b. ⑥卒業生の国家試験受験のフォローは手厚いが、その他はどうだろうか。
- c. ⑦オープンキャンパスやガイダンス等で理美容業を知ってもらえるが、高校との連携はどうだろうか。
- d. ⑥卒業生について

2) 今後の改善方策等

- a. 大会等の補助の増額。
- b. 卒業生から連絡(相談)しやすいツールがあるとよい。
- c. 高校への出前授業等の実施。
- d. 就職後、何年でも相談しやすい体制があるとよい。(メール等含む)

(5) 広報・募集活動(広報部)

(平均)

①	広報・募集活動は重点化・効率化が図られ適正に実施されているか。	4.5
②	広報・募集活動を支援する職員体制ができているか。	4.5
③	広報・募集活動では、教育成果が適正に伝えられているか。	4.3

1) 課題等

- a. 宿泊が必要なのか疑問がある。
- b. 人材不足

2) 今後の改善方策等

- ・広報専門の職員を入れ、活動強化できるといいと思いました。
- ・広報の活動内容などは共有化されていないことが多いため、評価できないと思う。
- a. 宿泊しなければならない理由を記入してほしい。
- ・効率的ではあるが体験入学会においては高校生の人数によって学生アシスタントの人数を柔軟に変更できるとよい。
- b. 固定された戦力が必要。

(6) 法令等の遵守(事務部)

(平均)

①	法令・専修学校設置基準・就業規則等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.7
②	個人情報の保護対策がとられているか。	4.2
③	自己評価の実施と問題点の改善が行われているか。	3.8
④	自己評価結果を公開しているか。	4.4

1) 課題等

- ・②個人情報の重要性の意識がない教員がいる。
- ・理事会、評議員会等で話し合っているので特に問題ないと思う。
- a. 個人情報の取り扱いの認識に差がある。

2) 今後の改善方策等

- a. ルールを設定し、再度共有。

(7) 社会・地域貢献(指導部)

4.2(平均)

①	学校の教育資源や施設を活用した社会・地域貢献を実施しているか。	4.1
②	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4.1

1) 課題等

- ・学生のボランティア活動が少ない。
- a. 地域との結びつきが足りない。
- b. ②教員の引率について。
- c. ①、②とももっとできるはず。

2) 今後の改善方策等

- a. 地域や団体への施設開放。
- ・学生会の外掃除、クラスローテーションで年2回から増えたとしても実施させるので寒い時期(2月)は控えてあげたい。
- b. 学生だけで参加できるとよいと思う。
- c. ボランティア募集を周知し、参加意欲をもたせる。

(8) 学校運営等について自由に記述して下さい。

- ・一部ですが、教員同士の仲が悪いと学生への影響が問題です。
- ・学校をよくするため、様々な評価やアンケートを実施しているが、教員を対象としたものばかりである。
- 責任者や事務部も対象になるよう改善してほしい。
- ・先日、学生の朝の連絡についての話がありました。グーグルのスクールや出欠アプリ等で対応できるのではないのでしょうか。

令和8年度外部評価委員会報告書

1 日 時 令和8年6月29日(月) 13時30分～14時32分

2 場 所 SENDAI中央理容美容専門学校 3階会議室

3 出席者 外部評価委員

矢子 浩次郎氏、兼重 康浩氏、柳澤 邦充氏、伊藤 貴章氏、星 歩氏

本校教職員

横橋 健、櫻井 江利子、後藤 和幸

4 審議内容

① 令和8年度学校経営方針について

- ・技術を身に付けさせるだけでなく、社会人・職業人の育成を大きな柱とし、「学生を大切に指導する」ことを意識し、職務遂行に努める。
- ・より良い組織作りと教育をととして、学生の学校への満足度を高め、入学生確保に努めたい。
- ・ICTの活用等指導方法の見直しの検討を行い、よりよい指導を心がける。

② 令和7年度学校評価(自己評価)について

(1) 教育理念・学校教育目標

全て4以上の評価であり、特段問題ないと考えている。

(2) 学校運営

教室のICT化は進んでいる。Googleクラスルームの導入が難しい状況であり、代替案で効率を図っている。情報企画委員会を立ち上げ、来年度の教務支援システムの導入を検討している。

(3) 教育活動・教育環境

生徒指導の重点である挨拶・マナー・後始末を意識し、根気強く指導している。

(4) 学生支援

三者面談を実施し、個々の適正や希望に合う進路支援をしている。

(5) 広報・募集活動

広報部と教務部が協力し、体制を整えながら活動している。

(6) 法令等の遵守

法令に沿った対応をしている。

(7) 社会・地域貢献

学生会主体で地域の清掃活動を企画し実施している。

③ 学校評価(自己評価)に対して検討・提言

- ・大会参加学生の負担軽減ため、現状より手厚い補助を検討してはどうか。
- ・広報・募集活動は全て4以上の評価であり、また入学者数が増えていることから活動強化されていると考えて良いのではないか。

④ その他

- ・学生生活アンケートの結果、不満点を把握できており、改善の方向性が出ていることは生徒と向き合っていることであり、良いと感じる。
- ・学生によって技術の習熟スピードに違いはあるが、国家試験全員合格を目標に学校全体で技術指導や筆記対策に取り組んでいる。また、学校全体で協力することが当たり前であるという意識があり、良い方向に向かっていると感じている。